

平成26年度 指定管理者制度外部評価

1 施設名称等

施設名称	環境教育支援センター
指定管理者	特定非営利活動法人 エコプラザさばえ
所管部署	産業環境部 環境課

2 総評

○ 評価できる点

平成20年度からの過去6年間の指定管理者としての実績をベースとして、環境教育支援センター（エコネットさばえ）の設置目的である環境啓発・教育推進のため、限られた人員・予算の中で、可能な限り、効率かつ効果的に、市民ニーズに対応した業務を実施し、平成25年度において、エコネット内外で講座等の参加者数が増加したことは大変評価されます。

また、職員の接客マナーや利用者側の立場に立った、サービスは適切であり、大変気持ちよく利用しています。

○ 改善が望まれる点

課題としては、幼児、児童層に比べて、成人層や企業の認知度がやや低いと思われるので、これらを対象とした利用者等の獲得増を目指して、情報提供の方法について工夫を凝らしていただきたい。

また、当館の「環境学習の推進」という機能は館内外で十分に果たしていると思うが、次のステップとして、主体的に環境に配慮して行動する市民等を育成し、「環境保全に関する実践活動を支援する」という機能も果たすということに、今まで以上に努めていただきたい。

また、各事業における年度ごとの業務効果と問題点をチェックし、次年度に活かして運営してほしいと考えます。

今後、取り組み事業数が増えていくことが予想され、それに伴い、職員1人ひとりのスキルアップと適正な人員の確保が求められてくると思います。この課題の克服に努めて、今後も、環境啓発・教育の拠点として、「環境学習の推進」および「環境保全に関する実践活動の支援」に努めていただきたい。

3 評価結果一覧

評価項目		指定管理者 自己評価結果	第三者評価機関 評価結果
第1 総則			
1	施設の設置目的に基づく基本方針	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針があり、職員が理解しているか。	A
2	施設目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的を達成しているか。	A
3	職員の勤務実績、配置状況	管理職を含む常勤職員および非常勤職員の勤務実績、配置状況は適切か。	B
4	職員のマナー	利用者に対する職員の接客マナーは適切か。	A
5	開館の実績	仕様書または事業計画書のとおりを開館しているか。	A
第2 施設・設備の維持管理			
1	建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理し、安全性の確保および良好な機能の保持を行っているか。	A
2	備品の管理	施設の備品を適切に管理しているか。	A
3	清掃業務	利用者が快適に利用できるよう、清掃が行き届いているか。	A
4	警備業務	安全、安心な環境を確保しているか。	A
5	ごみ排出量の抑制への取り組み	ごみ排出量の抑制に向けた取り組みを行っているか。	A
第3 運営およびサービスの質の向上			
1	利用実績の把握等	施設の稼働率および利用実績の推移について、把握および分析しているか。	A
2	利用しやすい受付案内の実施	利用者が利用しやすい受付案内を実施しているか。	A
3	施設の広報、施設の情報の提供	すべての利用者が等しく施設の情報を得ることができるよう、適切な情報の提供を行っているか。	B
4	サービス水準の確保	個々のサービスについて、対応職員によって差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行っているか。	A
5	個人情報の保護	個人情報の保護体制を確立し、適切な運用を行っているか。	A
6	事故防止対策への取り組み	事故防止のための体制を確立し、事故防止策を講じているか。	A
7	事故発生時の対応体制の確立	事故発生時における対応体制を確立しているか。	A
8	災害発生時の対応体制の確立	災害発生時における対応体制を確立しているか。	A
9	利用者の意見・苦情を活かす仕組みの整備	利用者にとって意見や苦情を伝えやすい環境を整えているか。	A
10	自主事業、独自の工夫等	施設の設置目的を達成するため、施設を最大限に活用するため、利用者のニーズに対応するために、独自に工夫して取り組んでいる事業等があるか。	A
第4 収支状況			
1	指定管理料の執行状況	指定管理料を適正に執行しているか。	A
2	収支決算状況	収支状況は極端な赤字になっていないか。人件費割合、外部委託割合などは適正な値か。	
3	経費節減状況	経費節減のための努力を行っているか。	
第5 その他			
1	その他	第1から第4までの項目では評価しきれなかった事項が他にあるか。	

4 指摘事項報告書 兼 対応策回答書 兼 対応済確認記録書

第三者評価機関記入欄		指定管理者記入欄	対応する 評価項目
指摘事項（重大なもの）		対応策 (いつまでに、どのような方法で、解決するのか。)	
	特記事項なし	特記事項なし	
指摘事項（軽微なもの）		対応策 (いつまでに、どのような方法で、解決するのか。)	対応する 評価項目
1	業務が一部の職員に偏ることがないように、適正な業務配分、無理のない執行体制を検討してほしい。また、継続して働きやすい職場環境に努めてほしい。職員研修費を有効に使ってスキルアップのための研修を実施してほしい。	職員のスキルアップをはかり、平均して対応できるように徐々に進めていきたい。ただ、人件費に制限があり、夜間や休日の事業も多く、偏りにはやむを得ない実情がある。当館事業の多様性、過重性を考えると、スキルアップしたところで離職するといった悪循環が繰り返されている。継続して働きやすい職場環境に努めるためには、待遇改善を考えていかねばならない。	第1 3 職員の勤務実績・配置状況
2	当施設に対する児童の認知度に比べて、大人（成人）および事業所の認知度が低いと思われる。貸館としての情報提供を含めて、広報のあり方を検討してほしい。通りがかりに当施設を見ると、中河小学校との区別が分かりにくいので、看板等は工夫してほしい。	館外での出前講座開催時などで館の事業案内等をおこない認知度アップの宣伝に努める。また、団体・企業などへも会議や活動などにおいて館の利用を促し、今まで認知されていなかった方々の来館増により、周知を広める。外壁看板設置については確かに外観から認識できる効果は大きく、担当課と協議の上進める。	第3 3 施設の広報、施設の情報の提供
3	枠内の予算での執行が求められるなか、事業によって当初予算に対して執行が、多かたり、少なかつたりと苦勞が見受けられる。次年度において、執行が少なかつた事業の予算を減額しているが、前向きでないともとられかねない。無駄遣いはいけないが、事業の重要性を精査して、必要な事業は規模を縮小せずに取り組んでいただきたい。	環境保全に関する実践活動を支援するとともに、環境学習の推進を図るため、環境に関する情報の収集・発信拠点施設として設置された当館の役割を踏まえ、環境基本計画に則った事業推進をこころがける。年度ごとに担当課との協議の元、必要に応じて、事業の見直しも行う。ただ、新しい要望も増加しつつあるゆえ、予算や職員対応の限界もあり、従来からの事業を見直していくこともご理解いただきたい。	第4 2 収支決算状況